

「人形劇を通して行う地域活動」

活動概要

「人形劇団ペロッコ」は今年、発足70年を迎えます。発足時から地域の保育園児を招待して人形劇の公演を行い、地域との交流を大切にしながら現在に至っています。また年々活動場所を広げ、老人ホームや障がい者施設などを訪問して人形劇の上演や施設の方々との交流活動を行っています。

台本、人形、大道具などは全て部員の手作りです。人形の形や劇の演出は世代ごとの工夫がみられます。しかし形は変わっても、「全てを手作りする」・「人形劇を通して地域の方々とのふれ合いを大切にする」という精神は発足当時から引き継がれています。



交流活動の様子

「人形を通して生まれるつながり・ふれあい」

劇が終わった後には必ず、出演した人形を持った私たちが客席に行って交流する時間をとっています。その時には皆さんが人形の頭を撫でたり、時には目に涙を浮かべて手を握り締めてください。こういったコミュニケーションをとることによって、演じる人と観客といった関係だけではない「つながり」や「ふれあい」が生まれます。これからも、人形劇をきっかけにたくさんの人とふれ合い、世代を超えたつながりを大切にしていきたいと思います。

私たちの活動に明確な目標やゴールはありません。あるとしたら、それは公演先の人々の笑顔です。その笑顔に出会うために、私たちはこれからも人形劇を続けていきます。



「夢を運ぶ人形たち」

ひとつひとつ表情があってとても生き生きしています。今にもおしゃべりが聞こえてきそうです♪

夏公演にて。
毎年このような
素敵なボードで出迎
えてくださいます！

